

原子力リスク研究センター（NRRC） 第13回 技術会議 議事録

1. 日 時：2016年12月2日（金）10：30～12：30
2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）
主査：横尾（NRRC）
委員：楨（北海道電力）、小保内（東北電力;加藤代理）、
五十嵐・川村（東京電力）、増田・中川（中部電力）、
高橋（北陸電力）、鈴木・吉原（関西電力）、
山本（中国電力;岩崎代理）、川西（四国電力）、岡野（九州電力）、
石坂（日本原電）、岡村（日本原燃）、鞍本（電源開発）、
野田（東芝）、今野（日立GE）、高橋（三菱重工;河野代理）、
倉田（原安進）、高橋・示野・座間・酒井・植田・山本（NRRC）
オブザーバ：尾野（電事連）

4. 議事概要

(1) 2017年度研究開発計画について

○NRRCより、2017年度研究開発計画について報告がなされた。

（主なコメント）（◆外部委員、◇電中研委員）

- ◆研究開発計画の説明については、研究の到達点の自己評価、規制・国際的な研究動向といった大局的な観点を踏まえて計画が検討されたというプロセスを説明してもらえると、研究の位置付けが見えやすくなると思う。
- ◆最新の熱流体解析（CFD）コードによる格納容器温度の詳細解析については、条件設定によって結果が大きく変わるため、最終的に実務で活用できるものになるかということ意識して開発に取り組んでもらいたい。

(2) NRRCの活動状況について

○NRRCより、「第6回技術諮問委員会（TAC）の開催結果」、「高津波ハザードサイトにおける津波PRAプロジェクト」、「パイロットプロジェクト エキスパートレビューの準備状況」、「リスク情報活用に関する今後の課題等に関する各社CNOとNRRC所長の意見交換の結果」について報告がなされた。

以上